

武豊町教育委員会と知教労との話し合いまとめ

2018年10月18日16時～

武豊町教育委員会

加藤教育長 木村教育部長 森田学校教育課長
田村課長補佐 中根指導主事 木下指導主事

組 = 組合 町 = 町教育委員会

1 愛知県「教員の多忙化解消プラン」に則る具体策と実行について

組 多忙化の改善に向けた具体的な取り組み状況はどうか。

町 努力して改善してきた。小学生の町民卓球大会と町民陸上大会は個人参加とし、顧問が打合せや当日の運営に関わらなくてもできるようにした。

組 中学校の部活改善はどうか。

町 2校と教育委員会でガイドラインの作成を話し合っている。富貴中学校は、午後の活動時間が長い6月と7月は朝の活動をやめるよう検討中。武豊中学校は、部活動の数も多く、活動場所確保の点から現時点では検討中である。

組 法令遵守や県のガイドラインの視点も反映させなくてはならない。公表されたことが法律に違反していることはあってはならない。

町 長い歴史もあるのですぐには変えられないこともあることを理解してほしい。

組 武豊町に設置された「多忙化解消プロジェクト」の進捗状況はどうか。

町 チームは30年度末で解散したが、今後も校長会で提案をもとに具体化できるよう努力していく。

組 学校訪問の簡略化の1つとして、指導案をA4で1枚にした町もある。武豊町も軽減を考えてほしい。

町 指導案については現行の様式で考えている。訪問する側は現職教育の一助となるように気をつけている。

組 教室等の過剰な事前点検はなくしたい。いわゆる「お見送り」や、新任教員が指導のお礼をすることなどはやめるような雰囲気もつくっていききたい。

組 副教材づくりの出張や児童・生徒から応募のあった作品の選定などに多くの時間がかかっている。副教材選定を教員の裁量にするなど、改善したい。

知多地方教職員労働組合

岩澤副委員長 岡田副委員長
榊原武豊支部長 坪井執行委員

町 副教材の選定については議会でも問題になり、カットしてきたものもある。作品募集については外部団体からの依頼は教育委員会で精選している。審査を学校任せにしないよう申し入れをしている。

組 教職員会の講演会や現職教育の発表会などなくせるものはないか

町 教職員会の講演会は廃止した。現職教育の発表会については今年度も実施する。町の教職員が一堂に会することも大切だと思うので、来年度以降は検討課題とさせてほしい。

2 勤務条件の適正化と労安法の遵守について

組 超過勤務時間の正確な記録のため、休憩がとれていない日は在校時間から8時間30分ではなく、7時間45分を差し引いた時間を超過労働時間として記録するよう指導してほしい。

町 休憩がとれなかった場合、修正ができる表を町内統一で使っている。県からのその旨の通達文書もつけて教頭会で指導している。

組 「休憩時間があるはずだ」ということにならないように実態にそって正しい記録ができるようにしていきたい。

組 電話対応を平日の19時～7時までと休日は留守番電話で対応できるようにしてほしい。

町 検討している。

3 教育書条件の充実について

組 武豊町はエアコンの設置を発表したが、特別教室にも設置をお願いしたい。

町 普通教室に続いて特別教室にも設置できるよう今後検討していく。

組 教職員のインフルエンザ予防接種費用の補助をしている市がある。武豊町でも実施してほしい。

町 現時点では難しい。

組 水泳の学習を町営プールで行うことになるが、児童・生徒にも教員にも負担がかからないようにしてほしい。

町 小学校については、すべての学校が1学期中にプールでの学習を終えるプログラムを計画している。